

(株)ABC商事 御中

決算書に関する提案書

第20期
2007年3月31日

この度、貴社の決算書を「決算すっきりシート®」で分析いたしましたので、その結果をご報告させていただきます。

<経営安全率>

分析結果(最終事業年度) : 16% 評価 : 優秀企業15~49%

儲かっているかどうかの究極の指標『経営安全率』(この%売上が落ちて損益トントン)が15%から49%の間で「優秀企業」です。このように、経常利益が出ているだけでなく、『経営安全率』も目指したい15%を超え、憧れを持って見られる素晴らしい会社です。

『経営安全率』の水準を維持する事はとても難しい事です。そこで、ご承知の事ですが、『経営安全率』をさらに高める二大原則、限界利益を上げることと、固定費をコントロールする事、をここで確認させていただきます。

「理想企業」になるために「更なる差別化を意識したお客様満足」を提案します。

<自由資金比率>

分析結果(5期平均) : 118% 評価 : 理想企業100%以上

資金繰りが楽かどうかの究極の指標『自由資金比率』が(勘定合って銭残る状況になっているか)が100%以上の「理想企業」です。

平均で自己資本の増加よりフリーキャッシュフローが多いという資金繰りを表しています。

最終期の『自由資金比率』が平均より下回っています。今期の事情を踏まえつつ、この理想的な平均の『自由資金比率』を維持したいものです。そこで目指す三つの方法を確認させていただきます。

固定資産、売掛金・受取手形、在庫、の残高のコントロールです。

「理想企業」を維持するためには「強みの確認・継続」を提案します。

<自己資本比率>

分析結果(最終事業年度) : 68% 評価 : 優秀企業40~69%

企業がつぶれないための究極の指標『自己資本比率』(調達した資本のうち、返済不要の資本の率)が40%から69%の「優秀企業」です。

『自己資本比率』が目指したい40%を超え、取引先からも、まずつぶれない企業と見られていると言えます。

『自己資本比率』を高めるのは通常二つです。総資本をコントロールする事。

具体的には『自由資金比率』に注目。さらに自己資本が大きくなる事。具体的には『経営安全率』に注目。

すなわち他の二つの究極の指標が良くなれば自動的に良くなります。

「理想企業」を目指すには更なる「利益面と資金繰り面での継続、改善」を提案します。

御社にお役に立つつもりで報告させていただきましたが、失礼な表現がございましたら、ここにお詫び申し上げます。

貴社の益々のご発展を今後ともご支援させていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

＜ 決算すつきりシート® ver07ad ＞

会社名: (株)ABC商事

決算期: 第 20 期 2007年3月31日 現在

単位: 百万円

① 貸借対照表・損益計算書を入力

事業年度		15期	16期	17期	18期	19期	20期
貸借対照表 資産の部	現金預金	131	92	86	109	154	191
	売上債権	21	21	24	16	25	30
	たな卸資産	2	3	3	5	12	9
	固定資産	158	145	174	172	174	193
	その他資産	7	6	4	2	6	7
総資産		319	267	291	304	371	430
貸借対照表 負債の部	買入債務	30	36	40	41	76	83
	借入金・社債	145	49	24	10	5	2
	未払法人税等	15	17	30	41	24	28
	その他負債	20	33	30	4	17	23
貸借対照表 純資産の部		10	10	10	10	10	10
利益剰余金		99	122	157	198	239	284
総資本		319	267	291	304	371	430
損益計算書	売上	507	560	706	767	826	922
	変動費	110	131	228	239	245	257
	限界利益	397	429	478	528	581	665
	人件費	225	252	262	297	327	379
	減価償却費	4	5	5	5	6	13
	その他の経費	126	122	132	133	146	164
	経常利益	42	50	79	93	102	109
	特別損益	-4	0	-2	1	0	0
	税引前当期純利益	38	50	77	94	102	109
	法人税等	17	22	35	43	51	54
	税引後当期純利益	21	28	42	51	51	55
株主資本等 変動計算書	期首利益剰余金	81	99	122	157	198	239
	役員賞与の支給	2	4	5	6	6	6
	剰余金の配当	1	1	2	4	4	4
	不明	0	0	0	0	0	0
	当期純利益	21	28	42	51	51	55
期末利益剰余金		99	122	157	198	239	284

② キャッシュフロー計算書

事業年度	16期	17期	18期	19期	20期
営業キャッシュフロー	50	55	44	62	76
経常利益	50	79	93	102	109
特別(損失)利益	0	-2	1	0	0
法人税等支払	-20	-22	-32	-68	-50
役員賞与の支給	-4	-5	-6	-6	-6
減価償却費	5	5	5	6	13
売上債権(増加)減少	0	-3	8	-9	-5
たな卸資産(増加)減少	-1	0	-2	-7	3
その他資産(増加)減少	1	2	2	-4	-1
買入債務(減少)増加	6	4	1	35	7
その他債務(減少)増加	13	-3	-26	13	6
投資キャッシュフロー	8	-34	-3	-8	-32
固定資産(増加)減少 (減価償却)	13	-29	2	-2	-19
フリーキャッシュフロー	58	21	41	54	44
財務キャッシュフロー	-97	-27	-18	-9	-7
借入金(減少)増加	-96	-25	-14	-5	-3
配当金支払い	-1	-2	-4	-4	-4
増資	0	0	0	0	0
キャッシュ増加	-39	-6	23	45	37
キャッシュ期首残	131	92	86	109	154
端数調整	0	0	0	0	0
キャッシュ期末残	92	86	109	154	191

③ 3つの指標で決算書がすつきりわかる

～今の会社の位置が5段階評価で示される～

儲かっているか?		経営安全率							～ この%売上が落ちても損益トントン ～		評価ランク表	
		15期	16期	17期	18期	19期	20期	平均	評価	20期		
損益計算書	限界利益:(あ)	397	429	478	528	581	665	513	16%	優秀企業	理想企業	50%以上
	経常利益:(い)	42	50	79	93	102	109	79			優秀企業	15～49%
	経営安全率 (い)÷(あ)	11%	12%	17%	18%	18%	16%	15%			普通企業	6～14%
										これから	0～5%	
										欠損企業	0%未満	

資金繰りは良いか?		自由資金比率◎							～ 利益がお金として残る率 ～		評価ランク表	
		16期	17期	18期	19期	20期	平均	評価	平均			
キャッシュ フロー 計算書	フリーキャッシュフロー:(う)	58	21	41	54	44	44	118%	理想企業	理想企業	100%以上	
	利益剰余金増加額:(え)	23	35	41	41	45	37			優秀企業	70～99%	
	自由資金比率 (う)÷(え)	252%	60%	100%	132%	98%	118%			普通企業	40～69%	
										これから	20～39%	
										要改善	19%以下	

つぶれないか?		自己資本比率							～ 総資本のうち返さなくてもよい資本の率 ～		評価ランク表	
		15期	16期	17期	18期	19期	20期	平均	評価	20期		
貸借対照表	自己資本:(お)	109	132	167	208	249	294	193	68%	優秀企業	理想企業	70%以上
	総資本:(か)	319	267	291	304	371	430	330			優秀企業	40～69%
	自己資本比率 (お)÷(か)	34%	49%	57%	68%	67%	68%	58%			普通企業	20～39%
										これから	0～19%	
										債務超過	0%未満	

(注)自己資本とは、資本金・資本剰余金+利益剰余金をいいます。